



JapanKnowledge の使い方

<JapanKnowledge とは?>

日本大百科全書（ニッポニカ）や現代用語の基礎知識、ランダムハウス英和大辞典などの辞書・事典を一括検索できます。また、歴史関係や用語・人名・情報、記事・コラムなどの多様なコンテンツがあります。

<アクセス>

学術情報センター URL: <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp/> > 図書館資料を探す > データベース

- ・ 上記サイトにアクセスします。「JapanKnowledge」をクリックしてください。
- ・ 右上の「ログインする」ボタンをクリックすると検索画面が開きます。
学内にあるパソコンなら、どこからでも使えます。



<使い方>

1. 検索画面

- ① 検索範囲を「見出し」「全文」から選択します。
- ② “基本検索” “詳細検索” をメニューから選択できます。
- ③ 検索 BOX に調べたい「言葉」や「ことがら」を入力し “検索” ボタンをクリックします。
 - JapanKnowledge に搭載されている事典・辞書を一括検索できます。
 - 詳細検索では複数の言葉を組み合わせた検索（AND 検索 / OR 検索）が可能です。
- ④ 検索 BOX には “サジェスト機能” が搭載され、調べたい言葉がはっきりわからなくても、冒頭の数字文字を入力すると候補項目が表示されます。英語などの綴りが曖昧な場合でも、目的の項目に行き着くことができます。



- ⑤ 画面左には “検索コンテンツ” ファセットと “メディア” ファセットがあり、名称部分をクリックすると検索結果を取録コンテンツごとに絞り込むことができます。
 - 検索でヒットしたコンテンツの横には件数が表示されます。
 - 一度に複数分野を選択することも可能です。

- ⑥ 検索結果を見出し語・一致度合い・情報量・コンテンツ順で並べ替えることができます。件数表示も変更できます。“スニペット” の切り替えで、項目名のみの表示にすることも可能です。

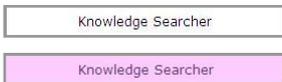
2. 本文表示画面

本文内のリンク（青文字）をクリックすると目次にジャンプします。

① 画面左上に収録コンテンツ名が表示されます。

② 右メニューでは目次・関連項目・関連サイト・参考文献などが表示されます。

③ Knowledge Searcher
本文中で検索したい言葉をマウスで反転させると Knowledge Searcher 機能のウィンドウが開き、検索結果を表示します。リンクをクリックすると選択項目が別ウィンドウで開かれます。
▶ 初期設定ではオフ(白)になっているので、クリックしてオン(ピンク)にしてください。



④ 引用元挿入機能

本文テキストをコピー&ペーストすると、貼り付け先の文書作成ソフトにペーストした際、自動的に引用元の情報が追加されます。表示される引用情報は、“項目名・コンテンツ名・データベース名・入手先 URL・参照日時”です。レポート作成時に役立ちます。

<そのほかにも>

TOP ページの“検索コンテンツ”から、「会社四季報」、「週刊エコノミスト」、「東洋文庫」、「文庫クセジュ」、「新編 日本古典文学全集」、「平成ニッポン生活便利帳」などのコンテンツが利用できます。利用したいコンテンツ名をクリックしてください。



<検索が終わったら>

必ず右上にある **ログアウト** ボタンをクリックしてください。



ログアウトせずにウィンドウを閉じてしまうと、一定時間が過ぎるまでログアウトされないため、次の利用者が利用できなくなりますので注意してください。